

令和元年度 第16回「まちづくり会議」概要 出城地区

日 時：令和元年9月17日（火） 19：30～20：40

場 所：出城公民館

参加団体等：地区振興協議会、町内会長会、壮年会、交通安全協会、子どもたちを育てる地区推進会議、ゆ一城倶楽部（壮年会）、出城社会福祉協議会、食生活改善推進協議会、公民館、町会連合会理事など

発言【1】

高齢者ドライバーが免許証を返納しやすい環境について

【市】

有効期限内のすべての運転免許証を自主返納した満65歳以上の市民の方に

- 市コミュニティバス「めぐーる」回数乗車券
- 北陸鉄道ICカード乗車券「アイカ」
- 県タクシー協会タクシー共通乗車券
- JR西日本ICカード乗車券「イコカ」

のいずれか1つ（2万円相当）を交付し支援しています。

また、昨年より75歳以上の方はめぐーるの運賃の無料化を実施しています。

市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めております。免許証を返納されたお年寄りの交通手段について地域で話し合い、公共交通空白地の運送事業を実施することについても「市民協働で創るまちづくり」の課題の一つとして取り組むことが可能だと考えています。

発言【2】

国で予算化される、幼稚園・保育園の交差点のガードレールの設置について
（学校を含めての市の取組み）

【市】

警察と道路管理者と一緒に、保育所、幼稚園の安全点検を行い、危険個所の確認を行いました。市では、警察からアドバイス等を受けながら、優先度の高い所から順に必要な安全対策を行うこととしています。

また、小学校と中学校は、従来から、PTA等の協力をいただきながら、通学路の危険箇所を指摘していただき、合同で現場点検をした上で、道路管理者や警察署

に、改善の協議依頼をしています。

指摘のあった箇所については、修繕や安全施設の設置を順次実施していますが、交差点の滞留箇所については、どのような方法がよいか検討していきたいと考えています。

発言【3】

相木野球場から新成に向かう交差点の改善について

【市】

現在、県道倉部成線と市道 G150 号線及び市道中成下成線の交差部には、停止線やゼブラゾーンを設けて対応しています。今後は、区画整理区域内の道路整備に併せて、信号機の設置が出来ないか警察と協議したいと考えています。なお、住民の皆さまには、交差点付近ではより一層慎重な運転をお願いいたします。

発言【4】

ジェンダーの平等について

【市】

白山市は、男女共同参画都市宣言をしており、各種審議会への女性委員登用の推進、女性管理職への積極的登用、女性のための起業セミナーの実施、一般事業主計画の推進、ワークライフバランスの啓発等に積極的に取り組んでいます。

市が定める、第2次男女共同参画行動計画では、審議会等委員に占める女性の割合について、令和8年度までに40%という数値目標を設けており、平成31年4月現在、審議会等委員に占める女性の割合は31.2%となっています。また、市職員の中で管理的地位に占める女性職員の割合は、平成31年4月1日現在21.5%と、特定事業主行動計画の数値目標20%を超えています。

市では、働きながら安心して子育てができる環境の整備を行っており、保育を必要とする子どもすべてが入所できるように、保育所や放課後学童クラブの整備に取り組んでいます。また、病気や緊急時、リフレッシュしたいなど、一時的に子どもを預けることができる一時保育や、病気で集団保育が難しいときに預けることのできる病児保育を実施しており、今後も、お互いを尊重しながら女性が活躍できる環境づくりを進めてまいります。

発言【5】

屋内多目的競技場の新設について

【市】

本市には数多くのスポーツ施設があり、現在既存の施設を市民の皆さまに快適に利用していただけるよう施設の長寿命化を考えた計画を立てて改修整備を行っています。新たな屋内スポーツ施設整備には大きな事業費が必要となるため現状では困難ですが、実現に向けて有利な制度活用を調査研究するとともに、利用者ニーズを反映した効率的な施設の管理運営に努めてまいります。

発言【6】

①白山登山バスについて

②JDIの今後について

【市】

①白山国立公園の自然環境の保全と登山者の安全確保や交通混雑の緩和を図るためには、登山ピーク時のマイカー規制とシャトルバスの運行が必要不可欠であることから、来年度以降も継続して実施することとしており、現在、石川県と連携してその運行事業者の選定や運行形態などを検討しています。

②JDIにつきましても、今後、新体制を整え検討していくとのことで、市としては推移を見守るしかなく、一日も早い再稼働を願っています。

また、離職に伴う雇用保険等の一斉説明会（手続き）をハローワークが行った際、会場確保の協力や人的協力を行っており、従業員の皆さんの雇用の確保について、ハローワークと連携をとりながら支援をしていきたいと考えています。